

□議員名：岡山明

1 アンダーパス冠水事故防止について

論点	市が管理する道路アンダーパスは、どこに何箇所あるのか。
回答	小野田消防署近くの J R 小野田線のパス、田辺三菱製薬工場近くの J R 小野田線のパス、小野田オリエンタルホテルの近くの J R 山陽本線の地下道。厚狭川にある広瀬地区の J R 山陽本線と山陽新幹線のパス、厚狭駅南部地区と寝太郎町を結ぶ道路で J R 山陽本線のパス、国道 2 号厚狭・埴生バイパスの迫山パス。計 6 か所。

論点	河川には、カメラ・水位計等があるが、アンダーパス内での監視カメラ、規制基準、管理状況はどうか。
回答	全てのアンダーパスには監視カメラはない。通行止めの基準については、小野田消防署近くのパス以外は定めていない。管理状況については、通行量の多い 4 か所は、強制的に排水ができるようにポンプを設置し、梅雨前に点検している。

論点	小野田消防署近くのアンダーパス以外は規制管理されていないのか。
回答	小野田消防署近く以外は、明確に水深が何 c m になったら通行止めという管理の基準を設けてないが、一般的に、水深が道路から 1 0 c m から 3 0 c m になるとブレーキ機能に影響があり、3 0 c m 超えてくると車両の故障の可能性があるとされている。この 3 0 c m を目安に職員がパトロールで確認して、通行止めをするという判断をしている。

論点	小野田線の地下道、梶山地下道があるが、当然子供たちが通学路に使っている。この地下道の水位管理、冠水対策どう捉えているか。
回答	梶山地下道に入ろうとする前後の道路より入口が一段高くなっているので、雨水が道路から地下道に入っていく構造にはなっていない。地下水が滞留するので、それを適宜排出し、万が一に、雨水もある程度入ることも想定してポンプを設置している。

論点	厚狭駅南部地区と寝太郎町を結ぶアンダーパスについて、道路の幅員は2 m弱、高さ1.8 m、その中に用水路が流れている。この管理基準はどうなっているのか。
回答	横にある水路については、道路管理者が管理する水路ではなくて、地元の用水路、地元の水利組合が管理している水路である。大雨が降ると、その水路もいっぱいになり、道路が冠水することもあるかもしれないが、知る人ぞ知る道路であり、通行者はほとんどいない状況だと思われる。

論点	厚狭駅南部地区と寝太郎町を結ぶアンダーパスについて、寝太郎保育園の園児が駅側に行く遊歩道として使われているようだが、安全面の対応は大丈夫か。
回答	大雨が降った際は相当な流量があるかと思う。水路には、カバーをかけてあるが、経過年数も相当たっており、穴が空いているという状況は確認している。これについては地元の水利組合が管理するもので、市がどうこうすることはできないが、まず最優先の安全対策ということで、その水路と道路の境に、今年度、人が落ちることのないように、転落防止柵を設置した。

論点	豪雨時には表示等を見落とす可能性がある。「自動遮断器」の設置が必要と思われるがどうか。
回答	自動遮断機については、一定の効果があると思われるが、スペース、コストの問題等があると認識している。確かに通行車の安全を守るというのが第一優先で考えられるが、現状の対応が適切であると考えている。いい対策が何かあれば、様々な形で調査と研究を行っていきたい。

## 2 帯状疱疹のワクチン接種に対する支援について

論点	10年前に、水ぼうそうのワクチン接種が定期予防接種になっている。国は今、帯状疱疹のワクチン接種を定期予防接種へ追加することを検討しているようだが、まずは本市として早期助成制度の形を
----	--

	進めていただきたいがどうか。
回答	本市において、任意接種の公費助成については、慎重に検討することとしている。したがって、先ほど担当部次長が回答したとおり、国や他自治体の動向を見ながら、調査研究をしていきたいと考えている。

### 3 市内の浴室浴場利用への支援について

論点	中央福祉センターの浴室利用状況はどうか。利用者は、福祉対象者、並びに介護者に対しては、利用料金は低額の110円で入浴できる。施設の入浴そのものが、今回廃止という状況になるがどうか。
回答	福祉センターの浴室の利用状況は、令和2年度が4,887人、令和3年度が7,106人、令和4年度が7,878人である。残念ながら2月20日に機器のほうに故障し、修理するに当たって専門の業者に調査を依頼し、見積もりを取った上で工事を行うことになるが、予定の3月16日には間に合いそうもないということで、やむなく現在は、利用停止させていただいている。

論点	2月末に中央福祉センターの浴室が廃止され、きらら交流館のリニューアルまでの3年間低額である市内の公立施設の浴場が使用できない状態となっている。せめて、きらら交流館のリニューアルまで民間入浴施設に何らかの支援ができないか。
回答	福祉センターの入浴施設については、市民の福祉の増進及び市民生活の向上を図るために設置をしてきたが、入浴施設に関しましては、既にその目的を果たしたものと考えている。一般の市民の方が民間の入浴施設を利用する際に、その利用料に対して支給することについては、現在のところは、特に考えてはいない。